

学位論文審査の要旨

学位申請者	柴田（田島） 祥【論文博士】 【人間発達科学専攻 平成18年度生】 (平成25年3月31日単位修得退学)	要 旨
論文題目	オンラインゲームでの社会的相互作用がシャイネスに及ぼす影響	<p>従来、インターネット・コミュニケーションとシャイネスとの関係は関心が持たれてきた問題であるが、その因果関係や影響関係を結論できる研究は乏しかった。また、とくにMMORPG（多人数同時参加型オンライン・ロール・プレイング・ゲーム）の問題については未検討であった。これらのことなどから、本研究では、実験や縦断調査の実施により、MMORPGの使用における社会的相互作用と、シャイネスの影響関係が検討された。4つの研究が行われ、研究1～3では、日常的な使用に関する影響関係について検討され、研究4では、シャイネスを改善することを目的としたMMORPG使用の介入的効果が取り扱われた。</p> <p>研究1～3では、MMORPGでの社会的相互作用はシャイネスを低減させる効果を持つ一方で、シャイネスの高さはMMORPGでの社会的相互作用を抑制する効果を持つなどの結果が得られ、両者の関係はrich get richer仮説を支持するものとされた。また、研究4において作成されたシャイネス改善プログラムは、効果が示された領域や期間が限定的なものであったものの、先行研究及び4つの研究から得られた知見から、MMORPGを活用したシャイネス改善プログラムに関する豊富な示唆が出された。</p> <p>この論文に対して、審査委員会は、平成27年12月2日（水）、平成28年1月22日（金）、平成28年2月26日（金）の3回の審査会を行った。審査の過程においては、論文全体のテーマやまとめなど論文の根幹に関わるものも含め、さまざまな問題が指摘された。申請者は、それぞれの指摘に対して、章立ての変更などを含む修正を行って適切に対応した。また、2月26日の公開発表会における発表や質問に対する回答についても適切なものとされた。論文中でも指摘されているように、本論文の限界はあるものの、それぞれの研究計画が丁寧に練られていること、研究の実施やデータ分析が十分な水準で行われていること、記述が的確であり柔軟であること、さらには、申請者のこれまでの研究実績や学力などを評価し、論文審査、最終試験の結果を合格とした。お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科の学位、博士（人文科学）、Ph.D. in Psychologyにふさわしいものと判断した。</p>
審査委員	(主査) 教授 坂元 章 教授 菅原 ますみ 教授 大森 美香 准教授 上原 泉 教授 加賀美 常美代	
インターネット公表	○ 学位論文の全文公表の可否（可・ <input checked="" type="radio"/> 否） ○ 「否」の場合の理由 ア. 当該論文に立体形状による表現を含む イ. 著作権や個人情報に係る制約がある ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている <input checked="" type="radio"/> エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている ※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について	